# まちの話題 TOPICS

故郷への思いを込めて演奏する小井土さん

## 小井土文哉ピアノリサイタル

**４月６日［釜石市民ホールTETTO］**

３月にイギリスで行われた第15回ヘイスティングス国際ピアノコンチェルトコンペティションで第１位を受賞し、昨年の第87回日本音楽コンクールピアノ部門で第１位に輝いた、釜石出身の小井土文哉さんの凱旋ピアノリサイタルが開催されました。小井土さんが奏でる繊細な音色に、満員となった800人の客席からは惜しみない拍手が送られました。

## 釜石大観音建立50周年、第２回えんむすびマルシェ

**４月７日［釜石大観音、仲見世通り］**

明治、昭和の大津波や艦砲射撃の犠牲者を弔い、世界平和を祈願し建立された釜石大観音の50周年を祝い記念式典を開催。記念に制作したキャラクター「かのっち」もお披露目されました。また同日、仲見世通りではえんむすびマルシェも開催。市内外から飲食や物販の店が出店し、参拝客は、地元甲子柿を使ったスイーツや三陸産のたらフライなどの食や、溶接して作る壁フック、着物に着替えての参拝などを楽しみました。

仲見世通りはたくさんの参拝客でにぎわいました

境内に設置された「かのっち」

釜石の海の魅力発信につながることが期待される「魚河岸テラス」

## 釜石魚河岸にぎわい館「魚河岸テラス」グランドオープン

**４月13日［魚河岸テラス］**

魚河岸地区のにぎわいづくりを目的に、フロントプロジェクト３の一つとして整備が進められてきた釜石魚河岸にぎわい館「魚河岸テラス」がオープン。１階にはキッチンスタジオや虎舞の紹介スペースなどが整備され、２階の飲食店では、釜石港を眺めながら食事を楽しむことができます。当日は、呈茶や毛ガニ釣りも行われ、市内外から訪れた多くの人々が完成を祝いました。５月には１階に金融機関もオープンします。

## 三陸沿岸道路及び東北横断自動車道釜石区間同時開通記念講演会

**４月13日［釜石市民ホールTETTO］**

３月に開通した三陸沿岸道路の市内区間と、全線開通した東北横断自動車道釜石秋田線の高速交通網完成を祝い講演会が開かれ、釜石出身の釜石応援ふるさと大使を務める小説家の柚月裕子さんが対談で思いを語りました。「命の道からかまいしの未来へ」と題したパネルディスカッションでは、柚月さん、震災後のがれき撤去に携わった㈱青紀土木社長の青木健一さん、震災１週間前に開通した三陸道で難を逃れた福成菜穂子さん、㈱かまいしDMC事業部長の河東英宜さんを招きそれぞれの立場で道路への思いや願いを述べた他、アドバイザーの国土交通省南三陸国道事務所長の折笠徹さんは、道路を使って地域を良くしてほしいと期待を込めました。

柚月さんは対談で作家を志したきっかけや釜石への思いを語りました

ラグビーボールを追いかける参加した子どもたち

## 全国一斉ラグビー体験会

**４月14日［市球技場］**

(公財)日本ラグビーフットボール協会、(一財)岩手県ラグビーフットボール協会の主催による全国一斉ラグビー体験会が開催されました。体験会に参加した10人の子どもたちは慣れないボールに初めは戸惑っていましたが、釜石シーウェイブスの選手やスタッフからの指導により、ラグビーを楽しむことができました。

それぞれの復興住宅の事例を話し合いました

## 復興公営住宅サミット

**４月15日［チームスマイル・釜石PIT］**

高層の集合住宅などでの安心安全な暮らしを実現するため、集合住宅の防災に詳しい(一社)宮城県マンション管理士会会長の高橋悦子さんが講演。出席した復興住宅の自治会役員らは日ごろの備えや、近隣住民との顔の見える関係づくりの大切さなどを学びました。各団地の事例では、防災訓練は実施しているものの、要配慮者の把握や、避難器具の操作方法が分からないなどの共通する課題も話し合われました。

## 拓殖大学麗澤会（りたくかい）レスキューボランティア、聖学院大学復興支援ボランティアツアー

**４月20日［釜石駅前広場、鵜住居地区生活応援センター他］**

この週末、大学生らによるボランティア活動が、市内各所で行われました。拓殖大学による花植えボランティアは９回目。釜石出身の学生２人も参加し、ラグビーワールドカップで世界中から訪れる観光客に釜石はキレイなところと思ってもらえるよう、釜石駅前広場や大町広場などで作業に勤しみました。聖学院大学は８年目となる桜の苗を届ける「桜プロジェクト８」を実施。地元埼玉の盆栽業を営む清香園の協力を得て、これまで届けた桜の手入れの他、三陸鉄道から良く見える場所にフジザクラを植樹しました。

釜石市赤十字奉仕団の皆さんも拓殖大学の学生らと一緒に花植え作業を行いました

10年間盆栽として大切に育てられたフジザクラを聖学院大学の学生が植樹しました

## ルート45港町コンサート

**４月21日［釜石市民ホールTETTO］**

今回で21回目の開催となったコンサートは気仙沼、陸前高田、大船渡、釜石、宮古の５つの吹奏楽団が集結し開催されました。３月には三陸沿岸道路や三陸鉄道リアス線が開通し５つの市の距離がより縮まりました。５団体合同の総勢145人の演奏は大迫力で、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

盛り上がりをみせたアンコール

## 北海道胆振東部地震支援活動報告会

**４月21日［いのちをつなぐ未来館］**

北海道胆振東部地震で被災した子どもたちの居場所づくりを支援したいと、藤原菜穂華（なおか）さん（鵜住居小６年）の発案で、この活動は始まりました。３月に活動メンバーのうち５人が厚真町を訪れ、釜石で集めた募金やメッセージを届けたり、被災した子どもたちに絵本の読み聞かせなどをしました。東日本大震災で自身も被災した藤原さんは「震災当時、北海道から来たボランティアと遊んだことが忘れられない。これからもボランティア活動を続けていきたい」と力強く話しました。

釜石での活動や、被災した子どもたちとの交流を報告する藤原さん(右)

５周年記念のヘッドマークを付けて釜石駅に到着したSL銀河

## ＳＬ銀河５周年発着イベント

**４月29・30日［釜石駅］**

JR釜石線を走るSL銀河の運行が開始されました。釜石駅での到着イベントでは、釜石虎舞が披露され多くの市民や鉄道ファンがSLと乗客を出迎えました。

翌日の出発イベントでは、桜舞太鼓と釜石高校吹奏楽部による演奏が披露され、園児２人による出発合図の後、黒煙を上げながら出発しました。SL銀河は土・日曜日、祝日を中心に９月まで運行される予定です。